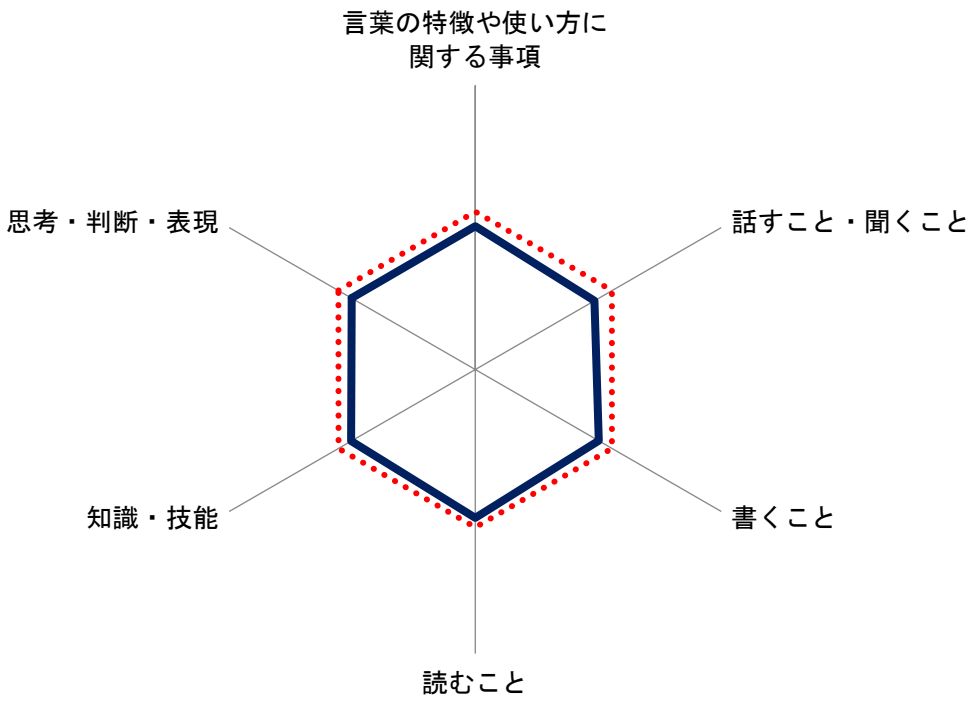


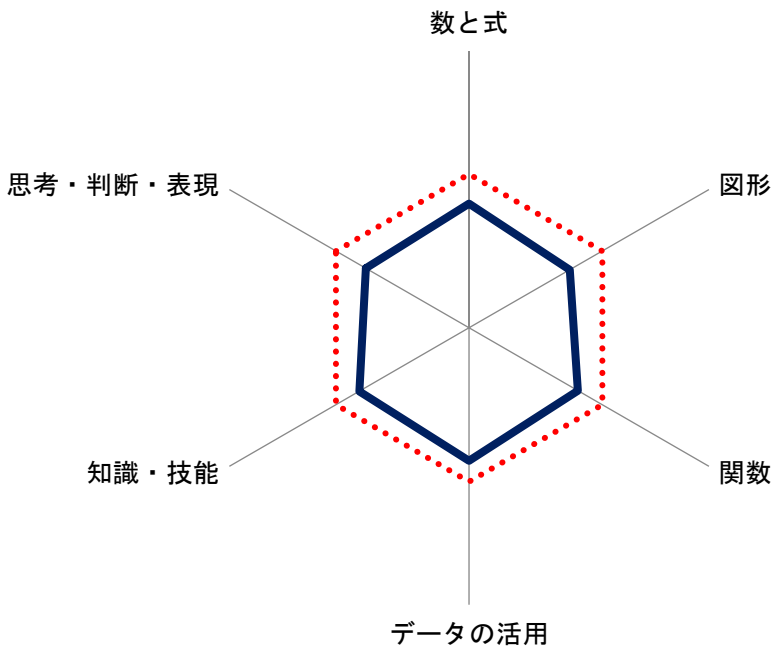
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

— 市平均
..... 全国平均



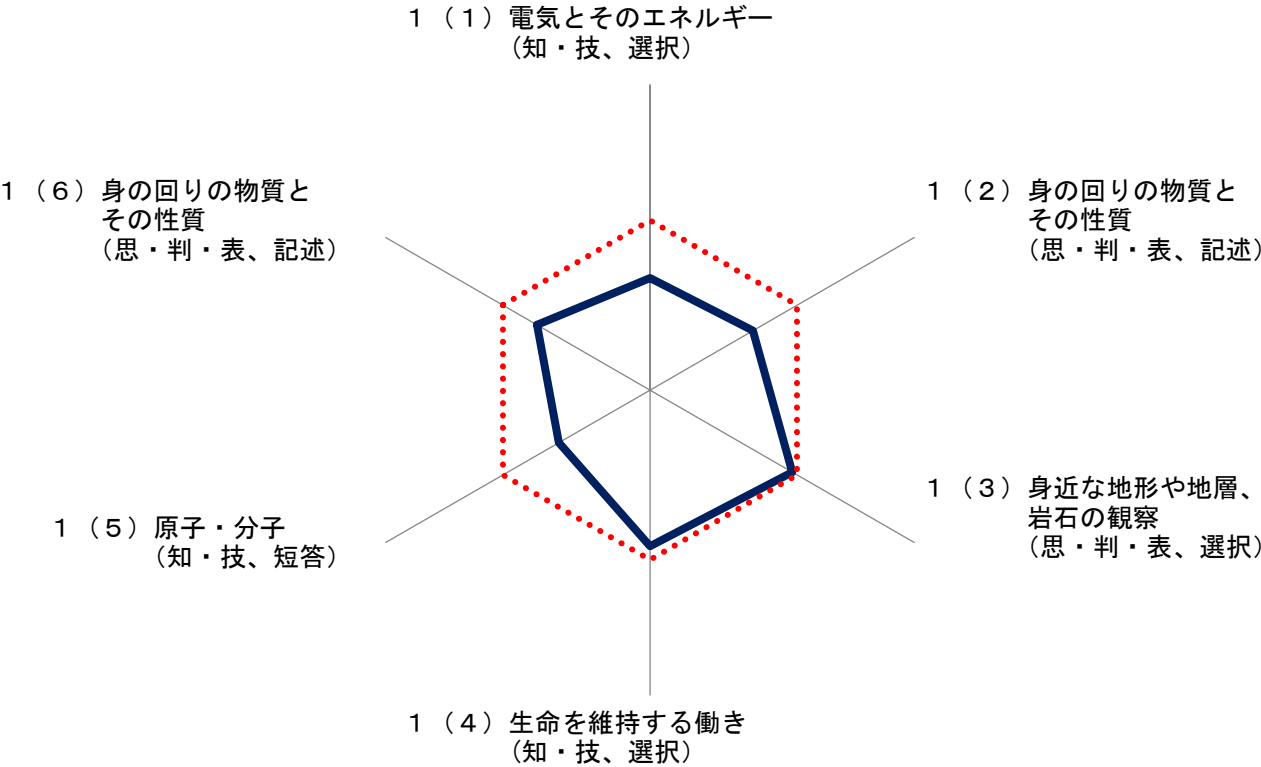
【数学】



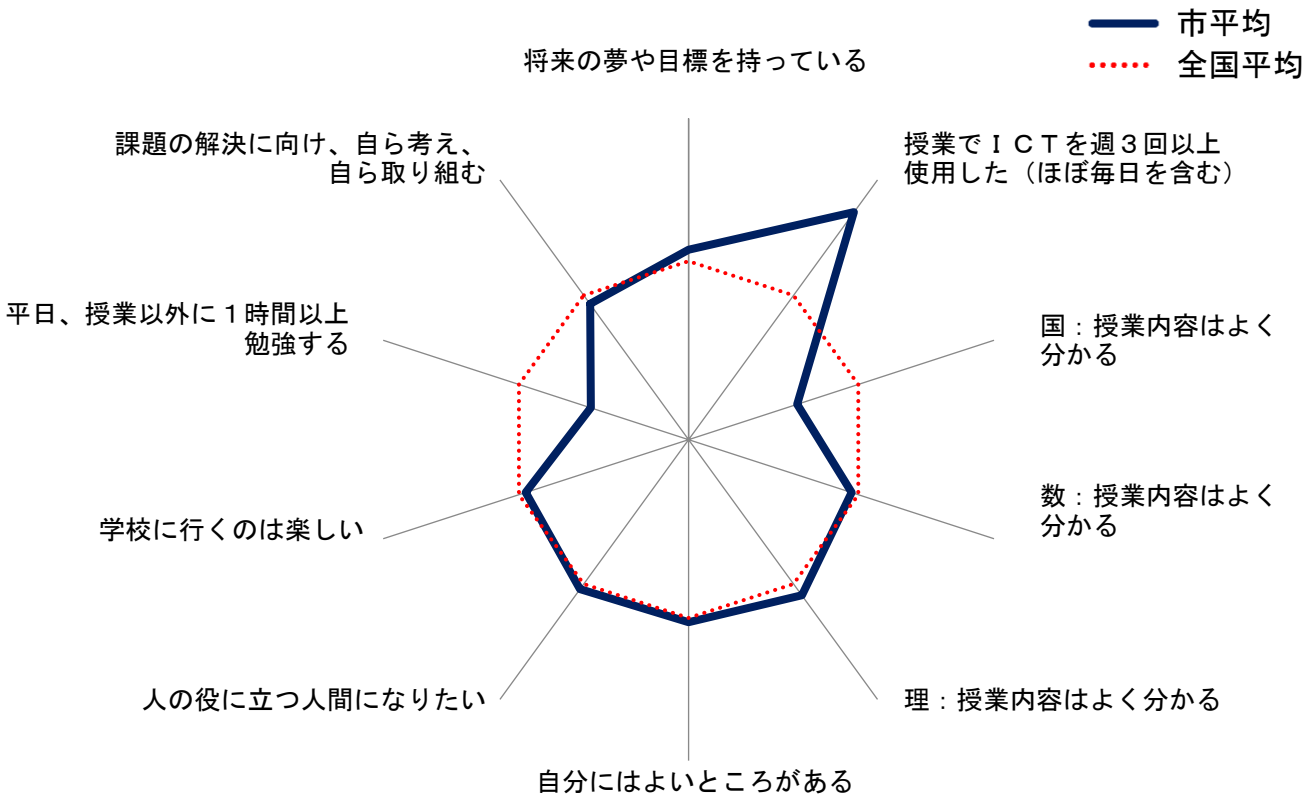
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)
【理科】

※全ての生徒が解答した共通公開問題(6問)について、問題ごとに
全国の平均正答率と県や市町の平均正答率との差を比較したもの

— 市平均
..... 全国平均



○ 生徒質問調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語と数学のほとんどの項目が昨年度に比べて全国平均との差が小さくなっているものの、国語、数学の全ての項目、理科の公開問題の全てが全国平均を下回っており、学習内容の定着に課題が見られる。今後は、学力の向上に向け、生徒一人一人の課題を的確に分析し、各教科において知識及び技能の習得と、それを基盤とした思考力、判断力、表現力等の育成を一体的に捉えた学力の育成を図る取組を一層推進していくことが望まれる。

生徒質問調査では、「授業でICTを週3回以上使用した」の項目が、昨年度に続き全国平均を大きく上回り、ICTを活用した授業の実践研究が推進されている成果がうかがえる。また「課題の解決に向け、自ら考え、自ら取り組む」の項目は、全国平均との差が昨年度より小さくなっており、改善傾向が見られる。一方、「平日、授業以外に1時間以上勉強する」、国語の「授業内容はよく分かる」の項目が全国平均を大きく下回っており、課題である。今後は、ICT操作スキルの高い生徒が多いという市の強みを生かしつつ、アナログとデジタルのベストミックスを目指し、学習内容・場面に応じたICTの効果的な活用を通して、生徒が「分かる」「できる」を実感し、自身の学びを次の学習へとつなげられるような質の高い授業改善を一層推進していくことが望まれる。